

日本医療教授システム学会

2023年度 第2回理事会

日時・場所:2023年5月20日(土)20:00~21:30 @オンライン【Zoom meeting】

出席者: 代表理事:池上 敬一  
理 事:大西 弘高、浅香 えみ子、奥寺 敬、岡本 華枝、津嘉山 みどり、  
鈴木 義彦、  
監 事:高橋 誠治  
欠席者: 理 事:鈴木 克明、松本 尚浩  
次回の理事会 2023年8月12日(土)19:00~20:30 @オンライン【Zoom meeting】

1. 会費未納会員の除名について

津嘉山理事より前回の理事会で検案されていた会費未納会員の除名に関して、督促を行い会規に即して処理を進めていることを報告した。浅香理事より再入会を希望された場合の未納会費についての扱いと、今後規定に従い2年の未納をもって除名の処理を進めることなどが確認された。また、現在監事が1名であるため、もう一人監事を指名することを次回の総会までに進めることとした。

鈴木義彦理事より前回の学術集会で演題発表を行っている会員もいたため、大会に登録する際にも会費の支払いの照会を行うことなどが提案されたが、筆頭論者ではなかったためチェックは行っていなかったことなどを浅香理事が答えた。また浅香理事よりホームページ上で会員自身の登録情報や支払い状況も確認できるため、支払いをしていない会員については未払いの督促に関しても会員の自己責任であると意見が出た。鈴木義彦理事より、除名の候補者の中に現社員も3名含まれていたため、除名までの猶予を設けることが提案され、ほかの対象者との差をなくすため、今回候補に挙がった178名に一度メールで連絡を行い、6月1日時点で未納だった会員に関しては5月31日付で除名することを全会一致で承認した。

2. セミナーに関する規定について

岡本理事より、学会のセミナーに関して運営マニュアルを作成中であることが報告され、浅香理事と規定に関しても検討していることを報告。浅香理事より現時点での草案が提示された。

3. 学会の税理士に関して

事務局より、2022年度会計報告にて消費税が未納であることが判明し、処理をしていただく税理士の候補について、もともと紹介のあった山本税理士に関しては会計を委託している学会支援機構と処理手順が異なるため依頼が難しいことが報告され、学会支援機構の代表である村上氏から紹介された税理士を報告。委託費の見積もりを提示した。改めて山本税理士にも見積もりを依頼し、その場合の学会支援機構でかかる追加費用を再度提示し、次の理事会にて依頼先を決定することとした。

4. 第15回総会・学術集会について

第15回学術集会大会長の浅香理事より大会開催日の収支報告。3日目に行われた学会セミナーの分については含まれていない。大会収支の監査について浅香理事より質問があり、前年までは学会の全体の会計を行っている学会支援機構に各証票類を送り、年度末にまとめて監査しているなどを事務局から報告した。本年度に関しても例年に倣って監査を行うことを全会一致で承認した。

5. GOLDメソッド資格認定セミナーについて

欠席された鈴木克明理事からの提出資料を回覧。5月13日に行われた GOLD メソッド資格認定セミナーと7月のセミナーをトライアウトに変更。それ以降については11月の予定を第1回とするか、別日程を先に組むかを検討中であることが報告された。

#### 6. 第16回総会・学術集会について

欠席された鈴木克明理事からの提出資料を回覧。2024年3月7日、8日に第16回総会・学術集会が武蔵野大学有明キャンパスにて開催。大会のテーマは「「できる」医療者が育つ仕組みを広げる～IDからISDへの展開～」を創案として検討中。

#### 7. 学会のホームページについて

学会のホームページについて、岡本理事、ホームページの担当会社、事務局にて回収打ち合わせを行い、改修を行ったことを報告した。なお、AHA、NAEMTのホームページについては改修を予定していることを報告した。

#### 8. 事務局委託先の学会支援機構の担当者について

学会の事務委託を行っている学会支援機構の担当者である的場の業務が回っておらず、関係各所で遅延が起きていることを報告。AHAを分担している斎藤氏については遅延なく業務が遂行できているため、学会セミナー及びNAEMTについては的場と学会支援機構の村上代表で打ち合わせを行い、新たな担当者をつけて理事長に報告する旨を全会で確認した。

#### 9. 学会誌について

大西理事より学会誌のVol.9が直近で発行される予定で、投稿論文が2本動いていること斎藤港のリマインドをかけていることを報告した。また今後の執筆について池上代表理事からGOLDメソッドの教材の掲載の申し出があり、特別号の発行などを含めて検討中であることを報告した。電子ジャーナルに関しては発行から1年を経過したものに関してはJ-stageに掲載を進めている。編集委員会は年2回開催する取り決めと英文投稿についてはセカンダリーパブリケーションを採用。投稿規定の改定も進めている。

岡本理事より学会誌について大学の博士課程が対象とする博士論文に該当する論文誌として登録手続きが要望され、大西理事より発行のタイミングなどによってはアクセプトをされていることを示すレターを出すことはできることを伝え、合わせて著作権に関して印刷に関しては学会に既存しているが論文自体については筆頭者にあることを報告した。